

みずほCustomer Desk Report 2017/06/01 号(As of 2017/05/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.85	1.1172	123.90	0.9760	1.2810	0.7458
SYD-NY High	111.23	1.1252	124.53	0.9761	1.2921	0.7476
SYD-NY Low	110.49	1.1164	123.74	0.9670	1.2770	0.7425
NY 5:00 PM	110.78	1.1245	124.52	0.9676	1.2892	0.7431
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.355/8.73		△25RR	1.438	Yen Call Over	
NY DOW	21,008.65	▲20.82	債券市場	日本2年債	-0.1580	0.6bp
NASDAQ	6,198.52	▲4.67		日本10年債	0.0490	0.6bp
S&P	2,411.80	▲1.11		米国2年債	1.2818	▲0.2bp
日経平均	19,650.57	▲27.28		米国5年債	1.7516	▲0.3bp
TOPIX	1,568.37	▲4.30		米国10年債	2.2028	▲0.7bp
シカゴ日経先物	19,675.00	55.00		独10年債	0.3040	1.2bp
ロンドンFT	7,519.95	▲6.56	為替市況	英10年債	1.0460	5.2bp
DAX	12,615.06	16.38		豪10年債	2.3870	▲0.4bp
ハンセン指数	25,660.65	▲40.98		USD/CNH	6.7462	▲0.0784
上海総合	3,117.18	7.12	商品市況	ドルインデックス	96.92	▲0.36
USDJPY 3M Vol	8.63	▲0.01%		CRB指数	179.772	▲1.56
USDJPY 6M Vol	9.26	0.02%		NY金	1,275.40	9.70
EURJPY 3M Vol	9.34	▲0.07%		WTI	48.32	▲1.34
EURJPY 6M Vol	10.37	0.07%		Dubai Spot	49.48	▲0.88

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月31日	18:00	欧 失業率	4月 9.3%	9.4%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	5月 1.4%/0.9%	1.5%/1.0%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- -3.4%	-
	21:00	米 カプラン・ダラス連銀 講演	-	-
6月1日	03:00	米 地区連銀経済報告(ページブック) 公表	-	-

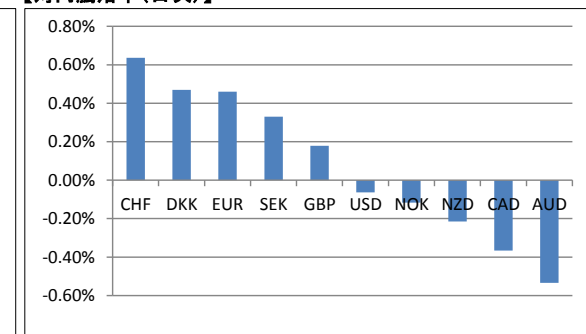
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月1日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:10	米 ウィリアム・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	10:45	中 Caixin製造業PMI	5月 50.1	50.3
	16:55	独 マークイット製造業PMI(確報値)	5月 59.4	59.4
	17:00	英 マークイット製造業PMI(確報値)	5月 57.0	57.0
	21:00	米 パウエル・FRB理事 講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 180K	177K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 238K	234K
	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 54.7	54.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1180-1.1270	124.00-125.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、軟調な値動き。米国時間発表の米国5月シカゴ購買部協会景気指数が当初発表で55.2と市場予想の57.0以上に低下したことから、一時110.49まで下落。ダウ平均や米金利も全般的に下落する動きが見られたが、その後、当初発表された数値が59.4と大幅に上方修正されたことからドル円は緩やかに反発し、東京時間午前8時時点では110.83近辺で推移している。本日の米国時間にADP雇用統計や新規失業保険申請件数、ISM製造業景況指数の発表が控えており、アジア時間はイベント待ちといった状況となるだろう。

東京	東京時間のドル円は110.85レベルでオープン。月末特有の本邦勢による実需フローが散見される中、ドル円は仲値にかけて小幅上昇。その後、111円ちょうどを上げるとストップを巻き込みながら111.23まで値を上げる。午後にかけては新規材料に乏しく、ドル円はじり安の展開、日経平均も軟調推移となる中でドル円は110円台後半まで軟化し、結局110.97レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.97レベルでオープン。ロンドン時間は特段の材料は見られず、フロー主導で110.75付近まで軟化するもその後は値を戻し、オープンとはほぼ変わらない110.91レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2798レベルでオープン。英国総選挙を6月8日に控え、メイ首相率いる与党・保守党が支持率を下げる内容となった直近の世論調査や、過半数を確保できないとの報道も相俟って一時は1.2770付近まで下落。しかしその後は、徐々に値を戻す展開に1.2840レベルまで上昇しNYに渡った。(ロンドン時間 00531 444 179 宛)
ニューヨーク	海外時間のドル円は月末需要の買いに高値111.23まで上昇したが、買えない株価を横目に111円台を割り込み、110.91レベルでNYオープン。朝方はカプラン・ダラス連銀総裁(2017年投票権あり)が最近のインフレ率低下に懸念を示しつつも「2017年の利上げ3回は基本シナリオ」との見解を示したが市場の反応は限定的。その後、一部米金融機関から今期のレーティング収益に対して懸念が示されると銀行株主導で米株が大幅安となったことや、数値を誤って発表された米5月シカゴ購買部協会景気指数(当初発表値55.2、予想57.0)が予想比下振れしていたことなどを背景に、ドル円は海外時間安値110.74を下抜け、この日の安値となる110.49まで下落。しかしその後、米5月シカゴ購買部協会景気が59.4と修正されたことを背景にドル円は底打ち、原油相場や米株も切り戻したことから、ドル円も値を戻すもその後は方向感ないレンジ推移となり結局110.78レベルでクローズ。午後2時に発表された地区連銀経済報告(ページブック)では「引き続き緩やかに景気は拡大したが、一部で個人消費に陰り」と示されたが、市場への影響は限定的。一方ユーロドルは1.1222レベルでNYオープン後、月末特有の買いなども相俟って米金利が低下基調となったことから、ドル売りが強まり高値1.1252まで上昇。その後も1.1240付近で底堅く推移し、1.1245レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・鶴田